

公表

## 訪問先施設からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日			
発達支援さくらボViitta		2026年 2月 25日			
		利用児童数		2026年 1月 31日 回収数 5	
チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
1 訪問支援員からの助言や説明は、具体的でわかりやすく、取り入れやすいものですか。	4	1		・丁寧で分かりやすい助言をいただき、日々の児童の支援で参考になりました。 ・事業所で行なっていることや子どもの様子などわかりやすいつもイメージしながらお話しさせていただいています。実際に園生活でもやってみてよりよい姿になったこともありました。 ・施設での様子や取り組みを知り園での関わりにも参考として取り入れている	引き続き園や学校のニーズに応えられるように、相談対応の質を高めていく。事業所での姿も伝えていけるよう情報交換を密に行なっていく。
2 訪問支援員の支援に対する知識・技術等に満足していますか。	3	2			引き続き園や学校のニーズに応えられるように、相談対応の質を高めていく。
3 訪問支援員は質問に対して、適時・適切に回答してくれますか。	4	1		・支援や声かけについて気軽に相談でき日々の保育に活かしている	引き続き園や学校のニーズに応えられるように、相談対応の質を高めていく。
4 保育所等訪問支援を利用したことで、課題や困りごとが解消または軽減されましたか。	4	1		・児童の行動について引き続き課題が見られる ・子どもが少しずつ変化し落ち着いてきた ・子どもの生活や行動に少しずつ変化が見られ、保育者の言葉を受け入れられる場面増えてきている。活動の切り替えについてもタイミングが合うことで次の活動へ移行できる姿が見られるようになった。	訪問の頻度や期間により変化が見られる児と見られない児はあるが、引き続き課題を共有しながら支援を継続していきたい
5 事業所からの支援に満足していますか。	4	1		・定期的な訪問で、子どもの様子や支援方法など共有でき助かっていることも多い。 ・園以外での集団生活の姿として園では見られない姿もあるものでありがたい ・保育時間と通所利用時間が重なっておりどちらともいえない	複数児が通所利用している園への訪問もあり、今後も連携を強化していきたい。意見の中には通所利用と訪問利用の混同があると考えられるものもあったが、それだけ密接な関係がある連携機関であることを意識したい
その他のご意見				ご意見を踏まえた対応	
<p>・本人の生活リズムの中に療育に行くことが組み込まれており、スムーズに利用できている</p> <p>・今後も事業所と学校が共通理解を持ち同じ方向を向いて児童を支援していくことが大切だと感じている。情報共有をしながら連携をしていきたいと考えている。</p> <p>・療育での内容と園での生活の関連がわかりにくいため、力を入れている点を知りたい。園での方向性と療育での方向性が異なると本人が戸惑うと思うため共有していきたい。</p> <p>・複数の園児が利用しているため感謝している。</p> <p>・生徒の普段の様子から、放課後等デイサービスで楽しい時間を過ごしている様子が伝わってきて嬉しく思っている。訪問支援での学校の様子を細かく観察しアドバイスをいただけることはありがたい。</p>				<p>訪問先との目標の共有に加え、訪問先の理念や支援方針を尊重した上で支援を行なう。改善が必要な場合にも、訪問先のニーズに即した形で助言を行うようにし、良好な関係構築と連携体制を維持していく。</p> <p>職員のスキルアップに努め、質の高い支援が継続できるようにする。</p>	